

公共建築ニュース

PUBLIC BUILDINGS MONTHLY

2008
Vol.40
No.480

12

今月の公共建築／兵庫県加古川総合庁舎	1
第11回公共建築賞表彰式 行われる	2
営繕工事における「見積りの提出を求める方式」の試行について	3
官庁施設のアスベスト問題への取り組み	4
平成20年度 国土交通省国土技術研究会 開催	6
公共建築の日 シンポジウム 開催	7
日中学術専門家による「空調システムシミュレーションツールの国際的評価検討委員会」始まる	8
情報スクラップ・情報ヘッドライン	9
ネットワーク／東京都 工事現場付近での通行人に係る救急事故について	10
●東京消防庁防災部生活安全課	
Q & A／建築工事監理指針（平成19年版）	11
豆知識／国土情報検索サイト “Kunijiban”	
協会だより	12

今月の公共建築

兵庫県加古川総合庁舎

東播磨生活創造センター「かこむ」(1~2階)

所在地 加古川市加古川町寺家町字天神木97番1
 設計者 兵庫県県土整備部住宅建築局
 営繕課・設備課、類設計室
 建築面積 2,392.92㎡ 延床面積 13,358.73㎡
 構造 鉄筋コンクリート造 10階
 工期 平成18年9月～平成20年3月



エントランス



ダブルスキン外観



かこむキャラクター
 名前：かこむん
 特技：仲間づくり



エントランス
ホール



エコ・ヴォイド
見上げ



ダブルスキン内

庁舎全景

兵庫県加古川総合庁舎は、JR加古川駅南東約400m～500mに位置する兵庫県下でも交通至便な地方庁舎です。この敷地条件を活かし、老朽化が著しい旧庁舎の現地建て替えを行いました。

建て替えにあたっては、① 県民の参画と協働を促す、利用しやすく開かれた庁舎 ② 環境共生型の庁舎 ③ 災害に強い庁舎 ④ 質の高い行政サービスを効率的に提供できる庁舎 ⑤ ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎 の五つの整備基本方針を立てて計画を行いました。具体的には、国道2号線に面するエントランスを入ると、2層吹抜けのホールをもつ東播磨生活創造センター「かこむ」を配置し、県民が積極的に県政に参画し、職員と協働していく核空間として計画しています。

開所以来、近くの高校生を始め、地域の方々が立ち寄る姿が見られ、週末には様々なイベントが開催されています。

環境共生への取り組みとしては、熱負荷低減のためのダブルスキンとエコ・ヴォイドの組み合わせによる自然通風と自然採光の活用、併せて、建築デザインと一体化した太陽光発電等の自然エネルギー活用、井水利用、屋上緑化などの技術を駆使し、『100年建築』としたうえで、LCCO₂の30%削減を目指しています。これらの環境共生技術については、1階受付横のディスプレイで紹介しております。それに加えて災害時の防災拠点となるよう、基礎免震とPC架橋を採用し、大地震時にも完全に機能する防災拠点庁舎としています。

執務空間においては、間仕切り変更や模様替えなどにも柔軟に対応できるよう、モジュール設定をしています。

内装材には県産木材を多用し、暖かみのある空間を醸し出しております。また、庁舎10階の屋上テラスからは、晴れた日に播磨灘～淡路島を一望することができますので、加古川総合庁舎にお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

社団法人 公共建築協会

